

# 4 鶴見中央 地区

## 1. 地区概況

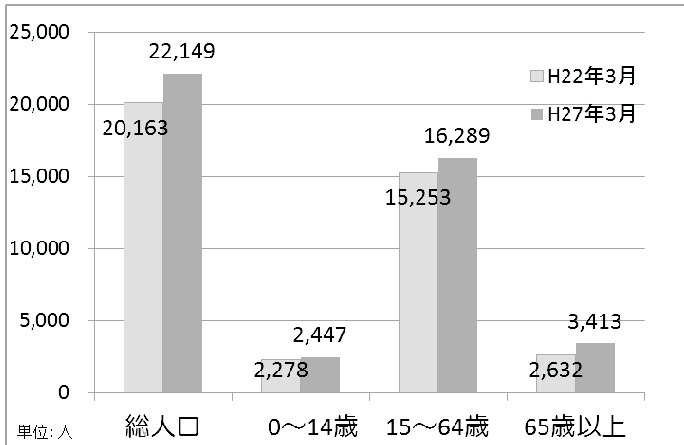
JR鶴見駅、京急鶴見駅が近く、交通の便が良く、また公共施設、商店、クリニックも多く利便性も良いです。保育園や高齢者関係施設、障害児者関係施設も数多く存在しています。

戸建よりも、マンションなどの集合住宅に住んでいる人の割合が高く、単身世帯の人も多くいます。



## 2. 鶴見中央地区の人口（年齢区分別）

	H22年3月 (年齢区分別比率)	H27年3月 (年齢区分別比率)	【参考】H27年3月 (鶴見区全体の年齢区分別比率)
総人口	20,163人 (100.0%)	22,149人 (100.0%)	(100.0%)
0～14歳	2,278人 (11.3%)	2,447人 (11.1%)	(13.3%)
15～64歳	15,253人 (75.6%)	16,289人 (73.5%)	(67.0%)
65歳以上	2,632人 (13.1%)	3,413人 (15.4%)	(19.7%)

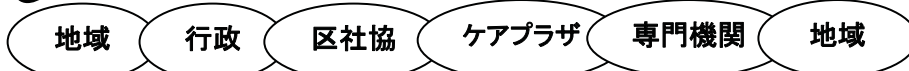


- ・5年前と比べると、0～14歳、15～64歳、65歳以上の人口すべてにおいて、増えています。
- ・高齢化率は、鶴見区全体と比較して低い状況にあります。

※地区別人口については、集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。 出典「横浜市統計ポータルサイト」

## 3. 第2期計画

それぞれの立場で連携し前に進もう



できることからひとつずつ始めよう

## 4. 第2期計画の主な取組内容（22年度～27年度）

地域で行われている様々な活動で地域を育むと同時に、「あいねっと」も推進してきました。

### 継続している活動

#### ★防犯・防災

- ・防犯パトロール
- ・放置自転車対策
- ・防災訓練



#### ★地域の交流活動

- ・おもちつき
- ・お祭り
- ・公園清掃
- ・町内会等各種イベント



#### ★子育て

- ・出張保育
- ・「さくらんぼの会」
- ・子育てカレンダー



#### ★健康づくり

- ・ウォーキング
- ・ペタンク
- ・グラウンドゴルフ
- ・ラジオ体操

#### ★高齢者・障害者

- ・一人暮らし高齢者訪問
- ・配食サービス「みつば亭」
- ・各種イベントでの交流



### 新たな活動

#### 22年度 ☆地域情報新聞の発行とまちしるべえ部会発足

新聞のタイトルを地域の方に募集し「まちしるべえ」に決定。地域行事、鶴見銀座商店街イベント、作業所紹介など地域のホットな情報を発信しています。

#### 地域ので「ふれあい広場」を整備

利用者も減り草が生い茂ってしまったゲートボール場を、草むしり、石拾い、整地と地域の力を結集！ペタンクの練習や簡単な運動ができる「ふれあい広場」へ大変身しました。

#### 23年度 ☆あいねっと推進委員会の発足

鶴見中央地区の安心・安全なまちづくりを進め、住みやすいまちになるよう地区内の自治会町内会をはじめとする各団体が集まり5月に推進委員会が発足しました。

#### ☆グッズ作成部会発足！

鶴見中央地区の「あいねっと活動」のシンボルとなり啓発と地域のつながりを深める「のぼり」を作成しました。

#### 24年度 ☆作業所部会発足 ☆イベント部会発足

様々な団体、組織も連携をはじめました！

災害が起こった「その時！」を日頃から考える防災カード

「その時どうするカード」を作成しました。（グッズ作成部会）



#### 25年度 いきいきライフフェスティバル開催（イベント部会）

地域の役割を担う委員の方々が協働し、地域が元気になるイベントを開催しています。

この年、作業所部会会員が各町内会の会員となりました！

#### 26年度 ☆あいねっと推進委員会交流会開催

8月22日4年目の歩みを進めるにあたり、一同に集まり、今までの活動を振り返り今後の活動について意見交換しました。

町会の仲間を増やす「ふれあいねっとマップ in 鶴見中央」を作成しました。（グッズ作成部会）



#### 27年度 ☆あいねっと推進委員会交流会開催

昨年度に続き8月28日に交流会を開催しました。

## 5. 第3期計画策定に向けて

第3期計画策定に向け、地域にお住まいの方々へアンケートにご協力いただきました。アンケートの結果を一部ご紹介します。

【実施期間】平成27年1月～平成27年6月 【回収枚数】 498枚

○お隣やお向かいの家の人との関係は？

- 1位 会えばあいさつする (230)
- 2位 話をする (91)
- 3位 頼みごとができる (74)
- ※全く付き合いが無い。(29)

○住んでいる町が「こうだったらいいな」と思うのは？(回答は1人3つまで)

- 1位 高齢になっても安心して生活できる町 (271)
- 2位 お互いに支え合える町 (240)
- 3位 あいさつや声かけができる町 (226)

### 【あいねっと交流会】

平成27年8月28日(金)、鶴見中央地域ケアプラザにて、「鶴見中央地区あいねっと交流会」を開催しました。当日は各町内会長をはじめとした町内会の方々、あいねっと推進委員会各部会員の方など、40名を超える皆さんが参加し、活発な意見交換が行われました。

交流会では鶴見中央地区のこれまでの取組みを振り返るとともに、地区独自で行ったあいねっとアンケートの結果について報告がありました。その後のグループワークでは、「つながり」「見守り」「健康」をテーマに①今できていること、②今後取り組めそうなことについて話し合いました。



### ◆交流会では、こんな意見が出ました!!

町内会の良さをPRしてはどうか。

掲示板やロコミを活用し  
講座への参加者を呼び込む。

地域の人が見守っている  
環境が継続されると良い。

健康チェックなどを若い母親世代にも  
やってもらいたい。

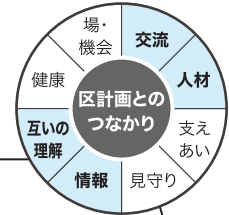
共通の趣味などをいかした活  
動が世代を超えてできるの  
ではないか。

## 6. 第3期計画策定（28年度～32年度）



# あいさつと声かけでつながる鶴見中央

### 目標1 声かけでみんながつながるまち



#### ■現状の良いところ・課題

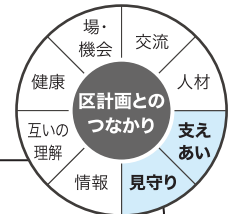
隣近所の人とは日頃からあいさつや声かけが行われています。お祭りなどさまざまな地域行事も行われていますが、行事への参加者が少なくなってきました。特に新しく転居してきた若い世代との近所づきあいが薄い状況にあります。

#### ■5年間の具体的な取組

町会・世代・組織を超えて様々なつながりをつくっていきます。

- ◎町内会の良さをPR
- ◎掲示板や「まちしるべえ」を活用した情報発信
- ◎特技や共通の趣味などを通じたつながり作り
- ◎若い人の地域行事参加への声かけ
- ◎新しく転居してきた人との交流

### 目標2 あいさつで見守るまち



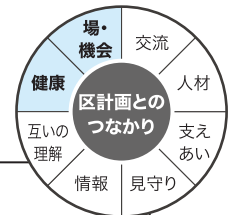
#### ■現状の良いところ・課題

子どもから高齢者まで見守る活動が行われています。なかには見守りの行き届いていない人がいるので、より広い見守りが必要です。

#### ■5年間の具体的な取組

- ◎大人も子どもも双方であいさつする習慣づくり
- ◎災害時には民生委員だけでなく、地域・近隣での見守りを行う体制づくり
- ◎子どもから高齢者まで幅広い世代が集まれる場所づくり

### 目標3 みんなが健康にすごせるまち



#### ■現状の良いところ・課題

すでに町会、保健活動推進員、食生活等改善推進員（ヘルスメイト）による、さまざまな健康づくりや栄養運動が行われています。活動に参加できていない人もいるため、幅広い人が参加できるよう働きかける必要があります。

#### ■5年間の具体的な取組

- ◎趣味や運動を通じた外に出るきっかけづくり
- ◎若い世代への健康の意識づけ
- ◎今ある活動を広げる工夫（PR、声をかける層を変えるなど）